

兵庫県のシャチホコガ(2)

兵庫県産蛾類分布資料・21

高島 昭

前回に引き続き兵庫県におけるシャチホコガ科の分布状況を過去の文献資料に基づき、一部未発表データも加えながらまとめてみた。表記方法等は前回(1999,高島,てんとうむし13,p.65-79.)に準ずる。掲載した文献記録は1999年12月31日現在、未発表記録は2000年8月31日現在で入手できた資料に基づいている。

前報では1999年9月30日現在のデータを拠として報告したが、その後の追加記録が多少あるため、地域別に確認された種類数は中東播北部27種(前報+3種)、西播南部45種(同+1種)、西播北部74種(同+2種)、南但70種(同+8種)、北但34種(同+4種)となっている(この他の地域は前報と同じである)。また、前報では兵庫県のシャチホコガ科の種類数を88種として報告したが、その後兵庫県立人と自然の博物館で所蔵標本の調査を実施した結果、これまで県下で記録がないトリゲキシャチホコの標本を確認したので1種追加し、文末に記録を紹介する。これにより兵庫県産のシャチホコガ科は89種となる。

貴重な所蔵標本の調査と記録の発表について格別のご配慮を頂いた人と自然の博物館の中西明德氏、八木剛氏には厚く御礼申し上げる。

なお、引用文献は今回新たに追加したもの(No.52以降)のみを文末に掲げた。No.1~51については前報を参照してほしい。

45. *Peridea lativitta* (Wileman) (3138)

アカネシャチホコ

北海道から九州にかけて分布するが、冷温帯の蛾で、ミズナラを食樹とし、その分布域はミズナラの分布とほぼ一致するとされる。年2回の発生。

県下での分布は限られており、次の6カ所のみが知られる。このうち、三日月町は低山地での記録であり注目に値する。また、妙見山でもミズナラは確認されているが、孤立的な分布となっており、本種が他の樹種を代替食樹としている可能性がある。

西播から但馬にかけての中国山地東部では広く分布していると思われる。

[採集記録]

妙見山(26.VIII.1983,1♂;29.VIII.1983,3♂,夏秋ほか⁵⁶)

波賀町(引原,18.V.1974,3♂,遠山ほか³⁶:同,14.VIII.1979,1♂;23.IX.1979,1♂,相坂耕作:同,25.VII.1988,1♂;20.VIII.1988,1♂2♀,高島昭²³)

三日月町(下本郷,-IV.-,-;V.-,-;VIII.-,-;IX.-,-,川副昭人⁶)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,2♀,谷田昌也³²:同,25.V.1985,1♀,足立義弘³²)

関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♀,高島昭)

市島町(妙高山,30.IV.1955,-,山本義丸⁴⁰)

46. *Peridea gigantea* Butler (3139)

ナカキシャチホコ

本土域各地に普通に見られる種で、伊豆諸島でも記録がある。年2回の発生で、ミズナラ、コナラ、クスギなど落葉性のコナラ属を食樹としている。県下では内陸部の低山地から山地まで広く分布し、生息地での個体数も多い。東播から西播にかけての沿岸部や淡路地域では得られていないが、生息しているものと思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:山の街,6.VII.1964,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(西谷西部,23.V.1976,1♂;26.V.1977,1♂;27.VI.1987,1♂;9.VII.1988,1♂;6.VIII.1988,1♂,東正雄²²)

川西市(黒川,13.VII.1996,1♂;10.VIII.1996,2♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,5♂;12.VIII.1982,1♂;20.VIII.1982,2♂,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,27.IV.1959,1ex.;29.VI.1960,1ex.;8.IX.1960,1ex.,岡本清⁵⁹)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁶)

大河内町(長沢,6.VI.2000,1♀,高島昭)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,6♂,遊磨正秀⁵⁰)

波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭²³:引原,8.VI.1974,1♂;22.VI.1974,1♂;29.VII.1974,1♂;12.

VIII.1974,1♀,遠山ほか³⁶:同,14.VIII.1979,2♂,相坂耕作:同,5.IX.1987,1ex.;2.VII.1988,1♀;26.

VIII.1988,1♀;22.IX.1988,1♀,高島昭²³)

相生市(瓜生,26.VIII.1997,1♂,高島昭²⁸)
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-.VII.-,-.VIII.-,-.IX.-,-,川副昭人⁶)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,2♀,川副昭人³²)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)
 和田山町(久世田,17.VII.1989,1♂,近藤伸一)
 大屋町(横河渓谷,23.VII.1999,1♀,高島昭)
 関宮町(福定,18.VII.1972,1♂;7.VII.1973,1♂;8.VII.1973,2♂;26.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:大段ヶ平,1.VII.2000,1♀;21.VII.2000,1♂,高島昭)

47. *Peridea oberthueri* (Staudinger) (3140)

ルリモンシャチホコ

北海道から九州にかけてと御蔵島、三宅島に分布する。年2回の発生でヤシャブシやヤマハンノキなどを食樹とする。県内では、前種と同様平地から山地まで広く分布し、前種が分布しない淡路島でも得られている。北但からは記録がないが分布していると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-,-,田中蕃³¹:同,-.-,-,岡村八郎¹²:山の街,5.VIII.1969,1♂,遠山ほか³⁶:藍那,29.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,14.VI.1977,1♂,26.VI.1979,1♂;27.VI.1983,1♂;13.VI.1987,1♂,東正雄²²)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多,25.IX.1959,1ex.;14.VI.1960,1ex.;13.VII.1960,1ex.;18.VII.1960,1ex.;18.V.1962,1ex.,岡本清⁵⁹)
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎⁷:同,6.VII.1996,1♀,高島昭²⁶:太市,-.-.1991,-,丸谷ほか⁹:同,17.V.1995,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,4.VII.1973,1♂;22.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶:同,5.IX.1987,1ex.;20.VIII.1988,1♂,高島昭²³)
 三室山(-.-,-,遠山ほか¹⁴)
 相生市(瓜生,17.VI.1989,1♂,高島昭²⁴)
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-,川副昭人⁶)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁵¹:横河渓谷,8.VIII.1999,1♂,高島昭)
 関宮町(福定,26.VII.1972,1♂,遠山ほか³⁶:氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸³⁸)
 氷上郡(-.-,-,-,山本義丸⁴⁰)
 北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂;5.VIII.1972,1♂1♀,登日邦明³⁵)
 津名町(大町畑,1.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵)

洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵)
 南淡町(阿万上町,9.VI.1961,-;16.VII.1961,-,藤平明²:同,10.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵:筒井,15.VII.1993,-,藤平明⁵²:賀集,28.VI.1995,-;26.IX.1995,-,藤平明⁵²)

48. *Peridea elzet Kiriakoff* (3141)

シノノメシャチホコ 注目種

分布の局限された種で、中国、四国の瀬戸内海沿岸、九州北部、対馬に分布し、小豆島からも記録がある。クヌギを食樹とすることが知られており、年1化と推定されている。

兵庫県内にも分布することが予想されていたが、1987年に北淡町で得られた。現在のところこの1例だけであるが、岡山県からも確認されており、西播地区の沿岸地域でも見つかる可能性は高い。

[採集記録]

北淡町(常隆寺山,27.VIII.1987,1♂,登日邦明⁶⁰)

49. *Peridea rotundata* (Matsumura) (3142)

マルモンシャチホコ

北海道南部から九州のブナ帯に分布する。年2回の発生でブナ、イヌブナを食樹とし、産地での個体数は多いという。県内では西播から但馬にかけての山地に分布し、ブナの分布とよく一致しているが、上郡町黒石のような低山地でも記録があり当地周辺にイヌブナの自生があるものと思われる。イヌブナの分布は局地的ながら比較的広いので、本種も低山地にまで分布を広げている可能性がある。

[採集記録]

一宮町(福知渓谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁰)
 波賀町(引原,5.VII.1973,1♂;12.VIII.1974,1♀,遠山ほか³⁶:同,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作:同,9.VII.1988,1♀;16.VII.1988,1♀;20.VIII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,26.VI.1998,1♀,高島昭)
 三室山(-.-,-,遠山ほか¹⁴)
 上郡町(黒石,22.VII.1984,1♂,相坂耕作)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♀,川副昭人³²)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♂,遊磨正秀⁵¹:横河渓谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸³⁸:福定,8.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:鉢伏高原,23.VII.1975,1♀,山本義丸⁴⁵:大段ヶ平,1.VII.2000,2♂;4.VIII.2000,1♀,高島昭)

50. *Peridea graeseri* (Staudinger) (3143)

イシダシヤチホコ

前翅基部や各横線、前縁翅頂近くに橙赤色斑を表し特徴的な斑紋の蛾で、本土域の山地を中心に分布する。ハルニレが食樹として知られているがケヤキも食樹になるという。年2回の発生。

県下では局地的な種で、わずかに7カ所で記録があるに過ぎない。最近の報告例がなかったが、筆者は波賀町坂の谷で採集している。また、竹野町からも記録されている。ケヤキを食するとしても元来山地性の種なので、どこにでもいるわけではないのかもしれない。氷ノ山周辺から北但にかけての山地帯では、ハルニレが局地的ながら分布するので、調査すれば本種が見つかると思われる。

[採集記録]

波賀町(引原,12.VII.1974,1♂1♀,遠山ほか³⁶:同,23.IX.1979,1♂;-VIII.1981,1♂,相坂耕作:坂の谷,19.VIII.1998,1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-IX.-,-,川副昭人⁶)

竹野町(森本,3.IX.1998,1♀,柴田剛)

大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♀,高島昭)

市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

青垣町(神楽,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

51. *Peridea aliena* (Staudinger) (3144)

ニトベシヤチホコ

北海道から九州にかけて分布する温帯林の蛾である。ズミヤカマツカを食べることが知られている。年2回の発生。県内の分布は低山地に多いもののやや局地的で、とくに中央部と淡路にかけて大きな分布の空白域がある。

[採集記録]

神戸市(有馬,23.VIII.1947,1♂,東正雄²²:山の街,7.VIII.1973,1♂,松本健嗣⁶³)

宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♂;1.VIII.1987,1♂,東正雄²²)

猪名川町(上阿古谷,2.VIII.1983,1♂;19.VIII.1983,6♂,夏秋ほか⁶⁵)

三日月町(下本郷,-VI.-,-,-VIII.-,-,川副昭人⁶)

関宮町(福定,4.VIII.1979,1ex.,芦田久¹)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

52. *Fusadonta basilinea* (Wileman) (3145)

ネスジヤチホコ

別名ヨシノシヤチホコといい、おそらく日本特

産種である。暖温帯落葉林の蛾で、関東以西、四国、九州北部にかけて分布し、全国的に見ると分布域は比較的狭い。クヌギを食樹とすることが知られている。年2回の発生。県内での記録は少なく、県南東部と南西部の里山的環境でのみ得られている。これはクヌギに固有と思われる種に共通した分布傾向である。淡路にも生息していると思われる。

[採集記録]

神戸市(山の街,7.VIII.1971,1♀,遠山ほか³⁶)

川西市(黒川,10.VIII.1996,3♂;2.VIII.1997,1♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;20.VIII.1982,3♂,夏秋ほか⁶)

三室山(-,-,-,-,遠山ほか¹⁴)

相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂1♀,高島昭²⁴)

三日月町(下本郷,-VI.-,-,-VIII.-,-,川副昭人⁶)

53. *Pheosiopsis cinerea* (Butler) (3146)

スズキシヤチホコ

別名オオウグイスシヤチホコという。北海道から九州までの本土域と屋久島に普遍的に分布する。コナラ属を食樹とし、年2回発生することが知られている。県内では生息地では普通種であるが、東播と淡路に分布の空白域がある。低山地から山地まで分布の幅は広い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,岡村八郎¹²:藍那,19.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(武庫川町,21.IX.1984,-,新家勝¹⁸:西谷西部,14.V.1977,1♂;16.VI.1977,1♀;27.V.1978,1♂;14.VI.1986,1♂;13.IX.1986,1♂,東正雄²²)

川西市(黒川,18.V.1996,1♀;3.V.1997,1♂;29.V.1997,1♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,5♂;12.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁶)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁶⁰)

波賀町(引原,18.V.1974,1♂;8.VI.1974,1♂;12.VIII.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,7.VI.1988,1♀;20.VIII.1988,1♂;1.IX.1988,1♀,高島昭²³:坂の谷,5.VI.1998,1♀;12.VI.1998,1♀,高島昭)

相生市(瓜生,1.VI.1989,1♂;29.V.1997,1♂,高島昭²⁴)

上郡町(行頭,15.V.1995,1♂;26.V.1995,1♂,高島昭²⁵)

三日月町(下本郷,-V.-,-,-VI.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(山本,26.V.1973,-,山根政之²⁰)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁴⁷)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,3♂,遊磨正秀⁵¹: 横行
 溪谷,11.VI.1999,1♀,高島昭)
 関宮町(福定,3.VI.1975,1♂;8.VII.1973,1♀,遊磨正
 秀⁴⁸: 大段ヶ平,1.VII.2000,1♀;21.VII.2000,1♀,
 高島昭)
 氷上郡(-.-.-,山本義丸⁴⁰)

54. *Phaeosopsis olivacea* (Matsumura) (3147)

ウグイスシャチホコ

日本特産種と思われる、本州と四国のブナ帯から
 得られている。九州からは記録がない。前翅の斑
 紋は前種とよく似ており、同定には注意を要する。
 一般に各横線は前種ほど明瞭ではなく、外縁部
 に白色部が発達する。♂は触角で区別できる。

ブナ、イヌブナを食樹としており、年2回の発
 生である。県下では、関宮町でのみ記録がある。

おそらく氷ノ山、扇ノ山一帯には広く分布する
 と思われる。

[採集記録]

関宮町(福定,8.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶: 大段ヶ
 平,2.VI.2000,1♀;4.VIII.2000,4♂2♀,高島昭)

55. *Eriodontia amagisana* (Marumo) (3148)

アマギシャチホコ 注目種

日本特産種で、東北、関東、中部地方と四国、
 九州の山地で春に採集されている。分布は概ねブ
 ナ林と一致しており、食樹はブナであることが判
 明した。局地的な分布をしているようで、近畿で
 は奈良県上北山村から唯一記録されていたが、氷
 ノ山での記録が発表された。ブナ林という生息環
 境と早春1回という特殊な発生を考えれば調査が
 不十分であることは大いに考えられ、今後新しい
 産地が発見される可能性は高い。

[採集記録]

大屋町(氷ノ山,1.VI.1991,1♂,柳田慶浩⁵²)
 氷ノ山(11.V.1991,2exs.,八木剛⁵¹)

56. *Drymonia dodonides* (Staudinger) (3149)

トビモンシャチホコ

大図鑑によると東北地方から中部山地にかけて
 と四国剣山で記録がある。冷温帯域の蛾で中部地
 方などでは山地に普通に見られるという。ミズナ
 ラを食樹としており、年1回初夏に発生する。

前述のように近畿地方は分布の空白域と思われ

ていたが、県内でも生息が確認されており、鳥取、
 岡山県境に近い中国山地で散発的に記録がある。
 おそらく、発生時期がやや早く、調査が行き届い
 ていないものと思われ、調査によって新しい生息
 地が見つかる可能性は高い。

[採集記録]

大河内町(長沢,6.VI.2000,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁴⁹: 坂の谷,
 27.V.1998,1♂;5.VI.1998,1♀,高島昭)
 三室山(-.-.-,遠山ほか¹⁴)
 大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♀;28.V.1999,1♂;11.
 VI.1999,1♂,高島昭)
 関宮町(福定,10.VI.1972,2♂,遠山ほか³⁶: 大段ヶ
 平,2.VI.2000,1♂1♀,高島昭)

57. *Drymonia japonica* (Wileman) (3150)

コトビモンシャチホコ

前種と近縁な日本特産種。本州、四国、九州に
 分布する。クヌギをはじめとするコナラ属から幼
 虫が見出されており、前種より垂直分布は広く、
 低地の二次林にも生息している。年2回の発生で
 ある。

県内でも低地から山地まで普遍的に分布し、個
 体数も多い。しかし、中・東播、淡路からは今の
 ところ未知である。おそらく広く分布しているも
 のと思われる。

[採集記録]

神戸市(藍那,16.VII.1972,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,13.VI.1987,-;13.XI.1987,-;2.VII.
 1988,-;6.VIII.1988,1♂;20.VIII.1988,-;3.IX.1988,-;
 27.VI.1989,-;16.VI.1990,-;25.V.1991,-;8.VI.1991,-,
 東正雄²²)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂;7.VI.1997,1♂;2.VIII.
 1997,1♂,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂;21.VII.1982,
 3♂,夏秋ほか³)
 安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♂;3.VII.1999,1♂,高
 島昭)
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,4♂,遊磨正秀⁵⁰)
 波賀町(引原,5.VII.1973,1♂;2.VI.1975,1♂,遊磨正
 秀⁴⁹: 同,16.VII.1988,1♀,高島昭²⁸: 坂の谷,17.
 VII.1998,1♂,高島昭)
 三室山(-.-.-,遠山ほか¹⁴)
 相生市(瓜生,7.VII.1989,1♂,高島昭²⁴: 三濃山,25.
 VI.2000,1♂,高島昭)
 上郡町(行頭,12.VII.1995,1♂,高島昭²⁵)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-.VII.-,-.VIII.-,-.IX.-,-,川副昭人⁶⁾)

竹野町(森本,3.IX.1998,1♂,柴田剛)

鉢伏山(-.-,-,-,¹⁴⁾)

朝来町(須留ヶ峰,9.VII.1975,2♂;31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷⁾)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁵¹⁾)

関宮町(氷ノ山,-.1954,-,山本義丸³⁸⁾:福定,10.VI.1972,2♂,遠山ほか³⁶⁾)

柏原町(柏原,-.-,-,-,山本義丸⁴⁴⁾)

58. *Drymonia basalis* Wileman & South (3151)

ノヒラトビモンシャチホコ

日本特産種で、岩手県から広島県にかけての本州と四国、九州の中央山地に分布する。クヌギから幼虫が発見されている。早春1回の発生である。

県内のこれまでの記録を見るとやや局地的で、宝塚市と西播丘陵地帯でのみ採集されている。発生地ではそれほど珍しいものではなく、春1回という発生なので、充分調査が行われていないことが記録の少ない原因であると思われる。南部から淡路にかけての低山地を中心にもっと広く生息しているのではないかとと思う。

[採集記録]

宝塚市(西谷西部,14.IV.1990,1♂;13.IV.1991,3♂;18.IV.1992,2♂,東正雄²²⁾)

相生市(瓜生,18.IV.1996,2♂;9.IV.1997,1♂,高島昭²⁴⁾)

上郡町(船坂,8.IV.1998,1♂1♀,高島昭:行頭,25.IV.1996,2♂,高島昭²⁵⁾:同,7.IV.1997,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.IV.-,-,川副昭人⁶⁾)

59. *Leucodonta bicoloria* (Linnaeus) (3152)

モンキシロシャチホコ

白い翅に橙色の紋があり美しい。冷温帯系の種で、中部地方以北の山地で採集されるが、西南日本では奈良県荒神岳、岡山県北部山地、広島県三段峡、四国の剣山、石鎚山などで孤立的に採集されているに過ぎない。食樹はダケカンバ、シラカンバ、アズキナシ、ナナカマドなどが知られているが、これから見ても県内の本種の分布が限られていることがわかる。

県内では波賀町音水で古い記録があるほか、同町坂の谷、大屋町、関宮町の氷ノ山一帯、鳥取県境にある扇ノ山で採集されており、個体数は比較的少ないようであるが氷ノ山を中心とする中央山

地一帯には広く分布していると思われる。

[採集記録]

波賀町(音水,-.-,-,-,³²⁾:坂の谷,15.V.1998,1♂,高島昭²⁶⁾)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也³²⁾)

大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,2♂,高島昭)

関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂1♀,高島昭)

60. *Semidonta biloba* (Oberthür) (3153)

カエデシャチホコ

北海道から九州までの本土域と対馬に普遍的に分布する。年2回の発生である。

低山地の雑木林を主な生息域としているため、クヌギシャチホコとよばれていたが、食樹がカエデ類であることがわかり、カエデシャチホコの和名が与えられた。トチノキにつく例も知られている。県内では、神戸市の採集例以外は西播北部から南但、丹波地域の中央山地で採集されている。雑木林というよりはむしろカエデ類やトチノキが多い溪谷地帯が分布の中心であるようだ。県下では低山地の河川添いにもカエデ類が見られるので、分布域はもっと幅広いのではないかとと思われる。また、人家に植栽されたカエデ類からの発生の可能性もある。なお、筆者がウチキシヤチホコとして報告したもの²³⁾は本種の誤りであったので、ここで訂正しておく。

[採集記録]

神戸市(山の街,10.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶⁾)

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾:同,18.VI.1988,1♀;9.VII.1988,1♀;25.VII.1988,1♂,高島昭²³⁾:原,28.VII.1995,1♂,高島昭)

朝来町(須留ヶ峰,31.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁷⁾)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵¹⁾:横行溪谷,11.VI.1999,1♂;8.VIII.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,23.VI.1973,6♂;7.VII.1973,3♂,遠山ほか³⁶⁾:氷ノ山,-.1954,-,山本義丸³⁸⁾:大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)

市島町(妙高山,-.-,-,-,山本義丸⁴⁴⁾)

青垣町(神楽,-.-,-,-,山本義丸⁴⁴⁾)

61. *Microphalera grisea* Butler (3154)

ハイイロシャチホコ

北海道から九州に至る本土域に分布し、カエデ類を食樹とする温帯落葉林の蛾である。年2回の発生が知られている。

県内では前種よりも局地的で、これまでの記録

は一宮町福知溪谷、波賀町音水溪谷と引原ダム、温泉町扇ノ山など山地が多いが、竹野町のように低標高地でも得られている。いずれも溪谷地帯であることが共通しており、本種の生息環境を反映していると思われる。中央山地では新しい産地が見つかるだろう。

【採集記録】

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁰)
 波賀町(音水溪谷,4.IX.1972,1ex.,遠山ほか³⁶:引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:坂の谷,5.VI.1998,1♀,高島昭)
 竹野町(森本,3.IX.1998,1♀;8.XI.1998,1ex.,柴田剛:大浦,11.X.1998,1ex.,柴田剛)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♂,谷田昌也³²)
 大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♂,高島昭)

62. *Epodonta lineata* (Oberthür) (3155)

ヤスジシャチホコ

北海道から九州にかけてと対馬に分布するが、ハリギリを唯一の食樹としており、シャチホコガ科としては異例の食性を持っている。年2回の発生とされているが、第1化は早春から発生する。

県内では低山地を中心に比較的広く分布しているが、食樹がハリギリであるため、普遍的な分布をする種ではないかもしれない。中・東播と南但、それに淡路からの記録がない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,田中蕃³¹:同,---,岡村八郎¹²:山の街,9.VI.1967,1♀,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♂,東正雄²²)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,3♂,夏秋ほか⁸)
 波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,5.IX.1987,1ex.,高島昭²³:坂の谷,4.IX.1998,1♀,高島昭)
 相生市(瓜生,30.VI.1989,1♀,高島昭²⁴:同,28.IV.1997,1♂,高島昭)
 上郡町(行頭,31.III.1995,1♂,高島昭²⁵)
 三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人⁶)
 温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♂,川副昭人³²)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)
 市島町(妙高山,28.VIII.1954,-,山本義丸⁴⁰)

63. *Phalerodonta manleyi* (Leech) (3156)

オオトビモンシャチホコ

本土域各地と対馬、沖縄に分布している。コナラ属を食樹とし、晩秋1回の発生である。

県内では平地から低山地にかけて広く分布している。淡路北部からの報告はないがおそらく各地に普通に産するものと思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,岡村八郎¹²:有馬,10.XI.1947,1♂,東正雄²²:藍那,31.X.1973,1♀,遠山ほか³⁶)
 西宮市(上葭原町,16.XI.1952,1♀,東正雄²²)
 宝塚市(南口2丁目,12.IX.1989,-,新家勝⁵⁸:山本,16.XI.1986,1♀,東正雄²²:光明寺,3.XI.1987,-,東正雄²²:西谷西部,28.X.1979,1♂,東正雄²²:武田尾,10.XI.1988,1♂,東正雄²²)
 川西市(黒川,1.XI.1997,1♂1♀,高島昭²⁷)
 黒田庄町(喜多,10.XI.1961,1ex.;13.XI.1961,2exs.,岡本清⁵⁹)
 姫路市(書写台,29.X.1988,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,-.X.1972,1♀,相坂耕作)
 三日月町(下本郷,-.X.-,川副昭人⁶)
 豊岡市(山本,27.X.1972,-;8.XI.1973,-,山根政之²⁰:正法寺,6.XI.1998,1ex.,柴田剛)
 竹野町(森本,2.XI.1998,1ex.,柴田剛)
 和田山町(久世田,1.XI.1998,1ex.,柴田剛)
 柏原町(柏原,---,山本義丸⁴⁴)
 洲本市(厚浜,9.XI.1972,-,藤富正昭⁴)
 三原町(八木養宜,20.XI.1989,-;10.XI.1991,-,藤富正昭⁴)
 南淡町(北阿万,12.XI.1958,-,藤平明²:阿万上町,19.XI.1990,-;13.XI.1991,-,藤平明⁵²:灘黒岩,2.XI.1997,-,藤平明⁵²)

64. *Hiradonta takaonis* (Matsumura) (3157)

タカオシャチホコ

別名オオウスグロシャチホコという。関東以西から九州にかけてと対馬に主な分布域があり、東北地方にも産するがまれ。暖温帯域に優勢な種であるといえる。和名は基産地である東京都高尾山にちなんだものである。日本産の主なシャチホコガの中で、最後まで幼生期が解明されていなかった種であるが、エノキを食べることがわかった(中臣・大橋,1996,やどりが168,p.49.)。

県内ではやや分布が限られ、県西部の低山地から山地にかけて生息して比較的普通に見られるが、それ以外の地域では記録がない。引原ダムでは多産するので、中央山地の似たような環境には広く分布するものと思われる。

【採集記録】

姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♂,高島昭²⁶)

波賀町(引原,12.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,5.IX.1987,1ex.;7.VI.1988,2♂;15.VI.1988,1♂1♀;18.VI.1988,1♂;2.VII.1988,1♂;25.VII.1988,1♂;20.VIII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,5.VI.1998,1♂;17.VII.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,7.VII.1989,1♀,高島昭²⁴)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-.VIII.-,-,川副昭人⁶)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,23.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

65. *Hexafrenum leucodera* (Staudinger) (3158)

ツマジロシャチホコ

前種に似ているが、前翅の色調や腎状紋が出現することなどで区別ができる。北海道から九州までの本土域と対馬、屋久島、伊豆諸島にも分布する。クリを主たる食樹とするため、里山から低山地にかけて多いが、多食性でサワシデ、ツノハシバミ、クマシデなども食樹としているので、山地の溪谷地帯にも生息地を広げている。

県内では中東播南部と淡路を除く各地に普通で、年2回の発生と思われる。

[採集記録]

神戸市(大池,22.VIII.1938,-,高橋寿郎²¹)

西宮市(生瀬,6.IX.1970,1♀,遠山ほか³⁶)

宝塚市(西谷西部,27.VIII.1986,1♀;13.VI.1987,1♂;12.IX.1989,1♂;16.VI.1990,1♂,東正雄²²)

川西市(黒川,7.VI.1997,1♂;20.IX.1997,1♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,7♂,夏秋ほか³)

黒田庄町(喜多,23.IX.1962,1ex.,岡本清⁵⁹)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁵⁰)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,-.IX.1982,2♂,相坂耕作:同,9.VIII.1988,1♂;1.IX.1988,1♀,高島昭²³:坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,8.IX.1997,1♂,高島昭²⁸)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-.VIII.-,-;.IX.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(山本,17.VI.1973,-,山根政之²⁰)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵¹:横行溪谷,20.VIII.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,23.VI.1973,7♂,遠山ほか³⁶:大段ヶ平,1.VII.2000,1♀,高島昭)

氷上郡(-.-.-,山本義丸⁴⁰)

66. *Takadontia takamukui* Matsumura (3159)

タカムクシャチホコ 注目種

本州から九州のブナ帯で得られる。ブナを食樹とし年1回の発生である。それほど多い種ではない。種名は標本提供者高椋悌吉に由来する。

県内では、これまでに扇ノ山で1例の記録があるだけでそれ以外の状況については不明である。隣接の他県でも稀な種とされており、産地はかなり局限されているのかもしれない。鳥取、岡山県境付近を中心に今後の発見が期待される。

[採集記録]

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♀,川副昭人³²)

67. *Hagapteryx admirabilis* (Staudinger) (3161)

ハガタエグリシャチホコ

北海道から九州にかけてと沖縄に分布する。年1回の発生とされているがはっきりしたことはわかっていない。食性は広く、クマシデ、サワシデ、ヤシャブシ、シナノキ、アサダ、ツノハシバミ、サワグルミ、ケヤキなどの落葉樹が食樹として知られている。県内での分布は局地的で、低山地の記録として六甲山系から北摂地方にかけて比較的広く見られるほか三日月町に孤立した記録がある。山地では西播北部から氷ノ山にかけて採集されている。おそらく山地の溪谷地帯から低山地にかけて、もっと分布域は広いと思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃⁵¹:同,-.VI.1970,1♂,遠山ほか³⁶:同,-.-.-,岡村八郎¹²)

妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁵⁶)

三田市(香下,3.IX.1991,1♀,東正雄²²)

波賀町(引原,9.VII.1988,1♀;16.VII.1988,1♂;1.IX.1988,1♀,高島昭²³:坂の谷,24.VII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.IX.-,-,川副昭人⁶)

大屋町(横行溪谷,23.VII.1999,1♂;8.VIII.1999,1♂,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-.-.1956,-,山本義丸⁴¹:大段ヶ平,21.VII.2000,1♂;4.VIII.2000,1♂,高島昭)

68. *Ptilodon jezoensis* (Matsumura) (3164)

エゾエグリシャチホコ 注目種

別名ナガエグリシャチホコという。冷温帯域に分布の中心をもつ蛾で、大図鑑では北海道から中部山地にかけて分布するほか、四国や九州の山地でも記録があると紹介されているが、中国山地に

も少ないながら生息している。ミズナラ、トチノキのほかシナノキ、アズキナシなどから幼虫が得られている。年2回の発生が知られている。

県下では中国山地東部に当たる波賀町と関宮町で記録がある。

〔採集記録〕

波賀町(引原,8.V.1977,1♂,遊磨正秀⁴⁹:坂の谷,12.VI.1998,1♀;20.VI.1998,1♀,高島昭)

関宮町(福定,23.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶:米ノ山,--.1956,-,山本義丸⁴¹:大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂1♀,高島昭)

69. *Ptilodon robusta* (Matsumura) (3165)

エグリシャチホコ

斑紋は前種と酷似する。北海道から九州の山地に分布するが、冷温帯系の種で西南日本ではかなりの高地に生息し、産地も局限される。ヤシャブシ、ヒメヤシャブシ、ヤナギ、カツラなどが食樹として知られ、食性は広いものと推定される。年2回の発生である。県下では前種と同様、中国山地東部で採集されているほか、神戸市でも1例記録があり注目される。

〔採集記録〕

神戸市(山の街,2.IX.1970,1♀,遠山ほか³⁶)

大河内町(長沢,6.VI.2000,1♂,高島昭)

波賀町(引原,25.VIII.1987,1ex.,高島昭²³:坂の谷,12.VI.1998,1♂;20.VI.1998,1♂;26.VI.1998,1♂;17.VII.1998,1♂,高島昭)

大屋町(横行溪谷,13.VIII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:米ノ山,--.1954,-,山本義丸³⁸)

70. *Ptilodon okanoi* (Inoue) (3166)

クロエグリシャチホコ

日本特産種で、北海道から九州にかけて分布するが、冷温帯域に分布の中心をもつ蛾で、西南日本では普遍的な種ではない。カエデ類やトチノキが食樹として知られており、年2回の発生である。

県内では、西播北部、南但から丹波にかけての中央山地に分布するほか、神戸市で孤立的に記録がある。ただ、大阪府箕面など、近隣府県でも低山地での記録があることから、比較的分布は広いと考えられ、今後各地で見つかる可能性は高い。

〔採集記録〕

神戸市(山の街,14.VIII.1966,1♀,遠山ほか³⁶)

波賀町(引原,1.VI.1974,1ex.,遠山ほか³⁶)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁵¹)

関宮町(福定,23.VI.1973,2exs.,遠山ほか³⁶)

青垣町(神楽,25.VIII.1956,-,山本義丸⁴⁰)

71. *Ptilodon hoegei* (Graeser) (3167)

スジエグリシャチホコ

北海道から九州にかけて分布するが、近縁各種と同様冷温帯域の蛾で、西南日本での分布は山地に局限される傾向にある。カエデ類やムクロジが食樹として知られ、年2回の発生。

県内での分布は局限されているが、六甲山系から北摂にかけての山城と西播北部から南但にかけての中央山地で記録されている。本種は大阪府箕面山でも記録されている。エグリシャチホコ属のうちでは前種とともに比較的低下地域にも生息しており、最も分布域が広い種かもしれない。今後の新産地の発見が期待できる。

〔採集記録〕

神戸市(摩耶山,---,-,田中蕃⁵¹)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♀;1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁸)

安富町(大河溪谷,7.V.1999,1♂,高島昭)

波賀町(坂の谷,20.VI.1998,1♂;4.IX.1998,2♂,高島昭)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(横行溪谷,20.VIII.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遊磨正秀⁴⁸)

72. *Fusapteryx ladislai* (Oberthür) (3168)

シロスジエグリシャチホコ

北海道から九州にかけて分布するが、冷温帯域を好む蛾で、西南日本では高地に限られる。各種カエデ類を食し、年2回の発生である。前翅前縁部に白色鱗粉を配し美しい。

県内では西播から但馬にかけての山地帯に分布し、溪谷地帯を好むようである。前2種のように低山地にまで分布域を広げている可能性は少ないと思われる。

〔採集記録〕

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁵⁰)

波賀町(引原,8.VI.1974,1♀;22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,7.IX.1988,1♂1♀,高島昭²³:坂の谷,5.VI.1998,1♂,高島昭)

温泉町(扇ノ山,18.VIII.1953,1♂,山本義丸⁴⁵)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(横濱溪谷,4.VI.1999,1♂;8.VIII.1999,1♂,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-,1954,-,山本義丸³⁸:大段ヶ平,4.VIII.2000,2♂,高島昭)

73. *Lophontsia pryeri* (Butler) (3170)

プライヤエグリシャチホコ

北海道から九州にかけて普遍的に分布し、対馬にも産する。年2回の発生で、ケヤキが食樹として知られているが、おそらく他にも食樹はあると思われる。

県内では、平地から山地まで広く分布するが、里山的環境に分布の中心があるのではないかとと思われる。中東播北部、北但、淡路地域からの記録が見られないが、本州側では広く分布している可能性は高い。

[採集記録]

神戸市(山の街,8.VII.1964,1♂,遠山ほか³⁶)

川西市(黒川,2.VIII.1997,1♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,2.VIII.1983,2♀;19.VIII.1983,1♀,夏秋ほか⁵⁵)

姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♀,高島昭²⁶)

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♂,高島昭)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,26.V.1988,1ex.;20.VIII.1988,1♀,高島昭²⁸:坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭)

上郡町(行頭,23.VI.1995,1♂,高島昭²⁵)

三日月町(下本郷,-,VI,-,-,VII,-,-,-,VIII,-,-,-,川副昭人⁶)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♂,遊磨正秀⁵¹)

関宮町(福定,10.VI.1972,3♂;23.VI.1973,4♂;7.VII.1973,1♀;15.IX.1973,1♂,遠山ほか³⁶:大段ヶ平,21.VII.2000,1♂;4.VIII.2000,1♀,高島昭)

氷ノ山(-,-,-,山本義丸⁴¹)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)

74. *Odontesia sieversii* (Ménétrières) (3171)

シーベルスシャチホコ 注目種

別名ミヤマエグリシャチホコという。冷温帯性の種で、北海道から中部地方にかけてのほか、三重県飯高町、四国剣山、石鎚山、九州九重山で記録されている。年1回春の発生である。ウダイカンバ、ダケカンバ、ヤシヤブシが食樹として知られている。

県下ではこれまで未記録であったが、筆者は大屋町横濱溪谷で採集している。

[採集記録]

大屋町(横濱溪谷,17.IV.1999,1♀,高島昭¹⁹⁷)

75. *Ptilophora nohirae* (Matsumura) (3173)

クシヒゲシャチホコ 注目種

北海道から九州にかけて分布する。カエデ類を食樹としている。兵庫県からは未記録であったが近年竹野町で確認された。これまで見つからなかったのは年1回、晩秋に出現し目につきにくいと思われる。近県では岡山県や大阪府泉佐野市、箕面市で記録がある。このうち、箕面市では12月に出現し、最近ではかなり多くみられるという。

[採集記録]

竹野町(森本,7.XII.1998,1ex.;13.XII.1998,1ex.,柴田剛)

76. *Himeropteryx miraculosa* Staudinger (3175)

キエグリシャチホコ 注目種

冷温帯の蛾で、北海道から九州にかけて分布するが、西南日本では高地に局限される。幼虫はカエデ属各種から発見されている。

県内ではこれまで波賀町引原ダムで得られた1例しか記録がなかったが、筆者は大屋町でも確認している。記録が少ないのは、山地性のうえ年1回晩秋の発生という特殊な出現時期によるものであろう。山地帯での採集調査は夏期が中心で、晩秋の調査はほとんど行われていないのが現状である。西播北部から但馬にかけての山地帯に分布していると予想される。

[採集記録]

波賀町(引原,22.X.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁹)

大屋町(横濱溪谷,6.XI.1999,3♂,高島昭)

77. *Togepteryx velutina* (Oberthür) (3176)

タテスジシャチホコ

北海道から九州にかけて分布する温帯性の種で、カエデ科植物を食樹としており年2回の発生である。

県内での記録は少なく西播北部から但馬地域にかけて記録がある。山地性の様相を示すが、それほど産地は局限されるものではないと思われる。発生地での個体数はそれほど少ないものではない。

[採集記録]

安富町(大河溪谷,8.V.1999,2♂,高島昭)

波賀町(引原,8.VI.1974,2♂,遠山ほか³⁶:同,16.V.1988,1♀;26.VI.1988,1♀,高島昭²⁸:坂の谷,26.VI.

1998,1♂;31.VII.1998,1♂,高島昭)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也³²)
 大屋町(横行溪谷,14.V.1999,1♂,高島昭)
 関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂,高島昭)

78. *Spatalia jezoensis* Wileman & South (3178)
 エゾギンモンシャチホコ

別名エゾギンシジシャチホコ。北海道南部から九州までのブナ林に生息する。おそらく日本特産種。ブナ、イヌブナを食樹とし、年2回の発生である。県下では、六甲山系と中・西播北部から但馬にかけてのブナ帯あるいはその周辺に記録が見られる。分布は食樹に制限されているが、発生地での個体数は必ずしも少なくない。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,18.VIII.1984,1♂,岡村八郎¹²)
 大河内町(長沢,29.VI.2000,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作:同,9.VII.1988,1♀,高島昭²³:坂の谷,26.VIII.1988,1♂1♀;26.VI.1998,1♂,高島昭)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂;11.VIII.1984,1♂;25.VIII.1984,1♂,谷田昌也³²)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁵¹)
 関宮町(氷ノ山,--1954,2exs.,山本義丸³⁸:大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;4.VIII.2000,1♂,高島昭)

79. *Spatalia doerriesi* Graeser (3179)

ウスイロギンモンシャチホコ

別名オオギンモンシャチホコともいう。北海道から九州に至る本土域と対馬に産し、年2回の発生である。この種は落葉性のコナラ属を広く食すると思われ、山地にも生息するがむしろ低地の二次林で比較的普通に見られる。

県内では淡路以外の地域で広く記録されており、南部の丘陵地帯から低山地では多い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,--,-,-,田中蕃³¹:同,--,-,-,岡村八郎¹²:藍那,5.VI.1973,1♀,遠山ほか³⁶)
 西宮市(生瀬,6.VI.1970,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,22.VI.1985,1♂;22.VIII.1987,1♂;2.VII.1988,1♂;6.VIII.1988,1♂;8.VI.1991,1♂,東正雄²²:武田尾,16.VI.1990,-,新家勝²²)
 川西市(黒川,18.V.1996,1♂;13.VII.1996,1♂,高島昭²⁷:同,10.VIII.1996,1♀,近藤伸一²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,13♂;12.VIII.1982,4♂,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,14.VIII.1961,1ex.,岡本清⁵⁹)
 姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♂;6.VII.1996,1♂,高島昭²⁶)

大河内町(長沢,6.VI.2000,1♂,高島昭)

波賀町(引原,4.VII.1973,1♀;22.VI.1974,1♂;12.VIII.1974,1♀,遠山ほか³⁶:同,26.VI.1988,1♂;9.VII.1988,1♀;16.VII.1988,1♂,高島昭²³)

三室山(--,-,-,遠山ほか¹⁴)

相生市(瓜生,23.VI.1989,1♂;30.VI.1989,1♂,高島昭²⁴:同,22.VIII.1997,1♂;25.IX.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,--VI,--,-,-,--VIII,--,-,-,--IX,--,-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(正法寺,20.VII.1998,1♂,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♂,川副昭人³²)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(横行溪谷,25.VI.1999,1♂;6.VII.1999,1♂;8.VIII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♀,遠山ほか³⁶:氷ノ山,--1954,-,山本義丸³⁸)

氷上郡(--,-,-,山本義丸⁴⁰)

80. *Spatalia dives* Oberthür (3180)

ギンモンシャチホコ

本土域と対馬に産し、ケヤキ、ハルニレなどのニレ科を食樹としている。年2回の発生である。

県内での分布は、前種ほど普遍的ではなく、やや山地に偏っている傾向にある。南東部では猪名川町に孤立的に記録があるが、大阪府箕面など北摂地域に記録があり、六甲山系などでもみつかると思われるし、西播地域でも各地に分布していると思われる。

[採集記録]

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか⁸)

安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♂,高島昭)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,12.VIII.1984,1♂,相坂耕作:同,16.VII.1988,1♀;9.VIII.1988,1♀,高島昭²³)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁵¹:横行溪谷,11.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,24.VI.1973,1♂;7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

氷ノ山(--,-,-,山本義丸⁴¹)

市島町(妙高山,--,-,-,山本義丸⁴⁴)

81. *Pterostoma sinicum* Moore (3181)

オオエグリシャチホコ

北海道から九州にかけて分布し、対馬でも記録がある。年2回発生し、イヌエンジュが食樹として知られている。

県内ではホソバシャチホコと並んで各地に普通で個体数も多い。とくに、他のシャチホコガ科があまり記録されていない淡路での採集例が目だつ。平地から低山地に分布の中心があるようである。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:大池,22.VIII.1938,-,高橋寿郎²¹:山の街,3.VIII.1969,1♀,遠山ほか³⁶:藍那,25.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
西宮市(仁川,12.V.1969,1♂,遠山ほか³⁶:生瀬,20.VI.1970,1♂;21.VIII.1971,1♂,遠山ほか³⁶)
宝塚市(西谷西部,26.VI.1977,1♂;27.V.1978,1♂;2.VII.1988,1♂;6.VIII.1988,1♂,東正雄²²:武田尾,6.VII.1991,1♂;12.VIII.1991,1♂,東正雄²²)
川西市(黒川,13.VII.1996,2♂,高島昭²⁷)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;21.VII.1982,7♂,夏秋ほか⁸)
黒田庄町(喜多,1.VII.1960,1ex.;2.V.1962,1ex.,岡本清⁵⁹)
姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁶)
龍野市(北龍野町,-IX.1967,1♂,相坂耕作)
安富町(大河溪谷,29.V.1999,1♂,高島昭)
一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁰)
波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭²³:引原,22.VI.1974 1♂,遠山ほか³⁶:同,12.VIII.1987,1♂;2.VII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭)
上郡町(行頭,2.V.1995,1♂;2.VI.1995,1♂,高島昭²⁶)
三日月町(下本郷,-IV,-,-,-;V,-,-,-;VI,-,-,-;VII,-,-,-,川副昭人⁶)
豊岡市(山本,31.V.1973,-,山根政之²⁰:正法寺,14.IV.1998,1♂;22.VII.1998,1♂;17.VIII.1998,1♂;31.VIII.1998,1♂,柴田剛)
大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵¹)
関宮町(福定,17.VII.1972,1♂,遠山ほか³⁶)
氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)
津名町(大町畑,3.V.1972,2♂;5.V.1972,1♂,登日邦明³³:同,30.VI.1972,2♂,登日英樹³³:同,1.VII.1972,1♀,登日邦明³⁴)
洲本市(鮎屋,13.VII.1969,-,坂口操¹⁶:中河原,13.V.1975,-,藤富正昭⁴:先山,12.VIII.1976,1ex.,堀田久⁵)

三原町(八木養宜,12.VIII.1986,-;5.V.1992,-;26.VIII.1992,-,藤富正昭⁴)

南淡町(阿万上町,14.VI.1961,-,藤平明²:同,6.V.1972,1♂,登日邦明³³:同,10.VII.1972,1♀,登日邦明³⁴:同,22.IX.1973,-,藤平明²:同,25.IV.1995,-;16.VI.1995,-;15.V.1997,-,藤平明⁵²:筒井,15.VIII.1993,-,藤平明⁵²)

82. *Rosama cinnamomea* Leech (3183)

ギンボシシャチホコ

北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島に分布する。幼虫はヌスビトハギを食べ、年2回の発生。県内では決して普通種ではなく、これまで神戸市、波賀町、関宮町、市島町、青垣町で記録があるだけである。

[採集記録]

神戸市(山田,2.VIII.1932,1♀,東正雄²²)
波賀町(引原,22.V.1976,1♂,遊磨正秀³⁶:同,15.VI.1988,1♂;9.VII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭)
関宮町(福定,24.VI.1973,1♀;7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:氷ノ山,-,-,1954,-,山本義丸³⁹)
市島町(妙高山,29.V.1954,1♂,山本義丸⁴⁴)
青垣町(神楽,30.V.1953,1♂,山本義丸⁴⁴)

83. *Rosama ornata* (Oberthür) (3184)

トビギンボシシャチホコ

北海道から九州に至る本土域と対馬に産する。ヤマハギを食し、年2回の発生である。生息環境から見ると前種とよく似ているが、本種のほうがより普遍的である。

県内では各地に記録があり、平地から低山地が分布の中心である。まんべんなく分布している種と思われる。

[採集記録]

神戸市(山田町,31.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
宝塚市(西谷西部,25.VI.1977,1♂;16.VI.1990,1♀;8.VI.1991,1♂,東正雄²²:大原野,23.VI.1979,1♀,東正雄²²)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭²⁷)
黒田庄町(喜多,15.VII.1959,1ex.;1.VIII.1959,1ex.;13.VI.1960,1ex.;14.VI.1960,1ex.;24.VI.1960,1ex.;26.VII.1960,1ex.,岡本清⁵⁹)
姫路市(西庄,13.V.1982,1♀,相坂耕作:太市,-,-,1991,-,丸谷ほか⁹)
相生市(瓜生,24.V.1989,1♂,高島昭²⁴:同,6.VI.

1997,1♂,高島昭

関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久¹⁾)

柏原町(柏原,--,--,山本義丸⁴⁴⁾)

洲本市(三熊山,10.VII.1981,1ex.,西岡公明¹⁰⁾)

南淡町(阿万上町,3.VI.1961,-;8.IX.1962,-,藤平明²⁾ :
同,16.VI.1994,-;6.VIII.1995,-,藤平明⁵²⁾ : 福良向谷,
5.VI.1996,-;11.V.1997,-;5.VII.1997,-,藤平明⁵²⁾)

84. *Gonoclostera timoniorum* (Bremer) (3185)

クワゴモドキシヤチホコ

北海道から九州にかけて分布し、ヤナギ類やポプラなどを食樹とすることが知られている。年2回以上の発生で、暖地では多化性であるという。

和名は前翅の形状がクワゴを連想させるところから名付けられた。県内では、わりと広く分布しているようで、瀬戸内海沿岸と北但で記録がないほかは、やや局地的ながら広い地域で記録されている。

[採集記録]

神戸市(藍那,25.VI.1973,1♀,遠山ほか³⁶⁾)

宝塚市(武庫川町,10.V.1982,-,新家勝⁶⁷⁾ : 西谷西部,
14.V.1977,1♂,東正雄²²⁾)

黒田庄町(喜多,13.V.1960,1ex.,岡本清⁵⁹⁾)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾ : 同,15.VI.
1988,1♂;2.VII.1988,1♂;25.VII.1988,1♂;7.IX.
1988,1♀,高島昭²²⁾ : 坂の谷,27.V.1998,1♂;12.VI.
1998,1♂,高島昭)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷⁾)

和田山町(久世田,26.IV.1998,1♂,柴田剛)

大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂;11.VI.1999,1♂,高
島昭)

関宮町(福定,10.VI.1972,2♂;26.VII.1973,1♂,遠山
ほか³⁶⁾ : 氷ノ山,--,1954,-,山本義丸³⁸⁾ : 大段ヶ
平,2.VI.2000,1♂,高島昭)

柏原町(柏原,--,--,山本義丸⁴⁴⁾)

青垣町(神楽,--,--,山本義丸⁴⁴⁾)

南淡町(阿万上町,5.V.1960,-;9.IX.1961,-,藤平明²⁾ :
同,6.V.1972,2♂,登日邦明³³⁾)

85. *Micromelalopha troglodyta* (Graeser) (3186)

ヒナシヤチホコ

基本的には冷温帯の蛾で、北海道から中国山地までと四国に分布することが知られている。ヤマナラシを食樹とし、ポプラにつくこともあるという。年2~3回の発生である。

県内では、食樹の関係からかやや産地は限定さ

れており、低山地から山地にかけて記録が散見できる。低標高地の記録についてはポプラなどに発生した可能性が高い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,--,--,田中蕃³¹⁾ : 藍那,6.V.1973,1♀,
遠山ほか³⁶⁾)

妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁵⁶⁾)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾)

三日月町(下本郷,-IX.-,川副昭人⁶⁾)

朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷⁾)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♀;8.VII.1973,1♂,遠山ほ
か³⁶⁾)

柏原町(柏原,--,--,山本義丸⁴⁴⁾)

青垣町(神楽,--,--,山本義丸⁴⁴⁾)

86. *Gluphisia crenata* (Hufnagel) (3187)

コフタオビシヤチホコ

冷温帯に優勢な種で、北海道から岡山県にかけて記録があり、西南暖地では山地性の種となる。

食樹はヤマナラシであることが判明しており、年2回の発生と思われる。

兵庫県は西限に近く、これまでの記録も中国山地東部に当たる大河内町、波賀町から大屋町、関宮町、温泉町にかけてに限られ、局地的な種である。しかし、発生地での個体数はむしろ多く、普通に見ることができる。さらに西播、但馬から丹波にかけての中央山地での発見の可能性がある。

[採集記録]

大河内町(長沢,23.V.2000,2♂;6.VI.2000,1♂,高島
昭)

波賀町(原,28.VII.1995,1♂,高島昭 : 引原,18.V.1974,
1♀;22.VI.1974,1♂;13.VII.1974,2♀;12.VIII.1974,
1♂,遠山ほか³⁶⁾ : 同,16.V.1988,1♂;29.VII.1988,
1♂,高島昭²²⁾ : 坂の谷,28.IV.1998,1♂;5.VI.1998,
1♂,高島昭)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂;25.VIII.1984,1♂,谷田
昌也³²⁾)

大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶⁾ : 氷ノ山,
--,1954,-,山本義丸³⁸⁾ : 鉢伏高原,24.VII.1974,1♂,
山本義丸⁴⁶⁾ : 大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂,高島昭)

87. *Clostera anastomosis* (Denis & Schiffmüller) (3188) ツマアカシヤチホコ

ユーラシア広域分布種の一つで、温帯林に優勢な種である。日本では本土域と対馬、屋久島にま

で分布し、各種ヤナギ類を食樹とすることが知られている。寒地では年2回の発生で、暖地ではさらに発生回数が増える。県内では低山地から山地にかけて分布は広いが、東播南部から西播丘陵地域にかけては今のところ確認されていない。

〔採集記録〕

神戸市(摩耶山,---,田中蕃³¹:同,---,岡村八郎¹²:藍那,25.VI.1969,1♂,遠山ほか³⁶)
 西宮市(生瀬,5.VII.1970,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(宝梅1,6.V.1976,1♂1♀;26.VI.1976,1♂,東正雄²²:武庫川町,13.V.1979,-,新家勝¹⁶)
 川西市(黒川,8.VI.1997,1♂,近藤伸一²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂1♀,夏秋ほか⁸:三草山,18.VI.1971,1♂,遠山ほか³⁶)
 黒田庄町(喜多,21.VI.1959,1ex.;13.IV.1960,1ex.;14.VI.1960,1ex.;13.IX.1960,1ex.,岡本清⁵⁹)
 大河内町(長沢,23.V.2000,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,5.VII.1973,1♂;18.V.1974,1ex.,遠山ほか³⁶:同,9.VIII.1988,1♂;1.IX.1988,1♂2♀;17.IX.1988,1♀,高島昭²³:同,24.IV.1998,1♂,高島昭:坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭)
 三室山(---,遠山ほか¹⁴)
 豊岡市(正法寺,31.III.1998,1♂;28.V.1998,1♂,柴田剛)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也³²)
 大屋町(氷ノ山,25.V.2000,1♂,高島昭)
 関宮町(福定,3.VI.1975,1♀,遊磨正秀⁴⁸:氷ノ山,-,1955,-,山本義丸³⁹:大段ヶ平,2.VI.2000,1♂,高島昭)
 氷上郡(---,山本義丸⁴⁰)
 津名町(大町畑,5.VI.1972,1♂1♀,登日邦明³³:同,28.VI.1972,1♂;29.VI.1972,1♂,登日英樹³³)
 南淡町(阿万上町,6.V.1972,2♂,登日邦明³³:同,10.VI.1973,-;27.IV.1975,-,藤平明²:同,25.IX.1975,-,藤平明⁵²)

88. *Clostera anastomosis* (Linnaeus) (3190)

セグロシヤチホコ

前種と同じくユーラシア種の一つで、日本では北海道から九州、対馬に普遍的に産する。沖縄本島での記録は偶産の要素が強いという。

各種ヤナギ類やポプラを食樹とし、年数回の発生である。

県下では平地から低山地にかけて記録があり、山地帯にはむしろ珍しい種のようなのである。とくに阪神間での記録が多いのが本種の特徴である。

〔採集記録〕

神戸市(藍那,26.V.1969,1♂,遠山ほか³⁶)
 尼崎市(南塚口町,17.VIII.1980,1♀,夏秋優⁵⁴)
 西宮市(仁川,10.VI.1969,1♀,遠山ほか³⁶:上ヶ原,31.X.1969,1♂1♀;29.V.1970,1♀,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(宝梅1,4.X.1976,1♂;9.XI.1976,1♀,東正雄²²:武庫川町,23.V.1979,-,新家勝¹⁶:南口2丁目,6.IX.1989,-,新家勝⁵⁸:武庫山,2.VII.1970,1♂,遠山ほか³⁶:光明町,27.X.1988,-,新家勝²²)
 川西市(黒川,7.VI.1997,1♀,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 高砂市(-,3.X.1968,1ex.,岡本清¹¹)
 黒田庄町(喜多,20.IX.1962,1ex.,岡本清⁵⁹)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,-,IX.-,-,川副昭人⁶)
 豊岡市(山本,3.VI.1973,-,山根政之²⁰:正法寺,5.X.1998,1ex.,柴田剛)
 竹野町(森本,23.IX.1998,1ex.;27.IX.1998,1ex.,柴田剛)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♀,谷田昌也³²)
 柏原町(柏原,---,山本義丸⁴⁴)
 津名町(大町畑,8.VII.1972,1♀,登日邦明³⁵)
 南淡町(灘,5.VI.1970,-,藤平明²:阿万上町,11.IX.1986,-,藤平明³:同,20.VII.1995,-,藤平明⁵²:賀集,29.V.1994,-,藤平明⁵²:筒井,17.X.1995,-,藤平明⁵²:灘大川,16.VIII.1995,-,藤平明⁵²)

89. *Torigea plumosa* (Leech) (3128)

トリゲキシャチホコ 注目種

日本特産種で、本州、四国、九州の標高1,000メートル前後のブナ帯に産する。幼虫は林床のクマザサ類を食草としている。年2回出現するが、個体数は少ないという。県下では文献記録は見あたらず、筆者も生息を確認していないが、兵庫県立人と自然の博物館の所蔵標本の中に県産の標本を確認した。播但山地から氷ノ山にかけて生息しているものと思われる。

〔採集記録〕

波賀町(坂の谷,8.VI.1991,1♂,熊代直生*)

<今後兵庫県で記録される可能性がある種>

1. *Cerura felina* Butler (3090)

モクメシヤチホコ

大図鑑によると、本種は北海道と本州に分布するとあり、岡山県でも八東村など北部山地でとれているという。かつて氷上郡から記録された⁸⁾が誤同定として削除された⁴⁴⁾。冷温帯性の種であり、発見できるとすれば中国山地の高地帯であろう。ヤナギやポプラを食樹としている。

2. *Phalera minor* Nagano (3112)

クロツマキシヤチホコ

別名コツマキシヤホコともいう。♂は小さいがむしろ♀は本属中最大の開張を示す。関東南部が北限で東海地方以西太平洋岸沿いに南西諸島にまで分布し、コナラ属を食する。ウバメガシへの食害が報告されている。

日本に産するツマキシヤチホコ属 *Phalera* では最も南方系の種である。県下では、神戸市藍那から下記の記録があるが、当時利用されていた保育社の原色日本蛾類図鑑にコツマキシヤチホコとして図示されていたものはタカサゴツマキシヤチホコの小型個体であり、この記録もタカサゴツマキシヤチホコとの誤同定ではないかと思われる。その後の採集記録も全くないため県内で再確認されるまで県産種としての取扱いを保留したい。

[参考記録]

神戸市(藍那,9.VII.1964,1♂,遠山ほか³⁶⁾)

3. *Hypodonta lignea* Matsumura (3121)

スジモクメシヤチホコ

隣の岡山県では西粟倉村若杉で記録がある。ここは宍粟郡千種町との県境にあり、西播北部山地から発見される可能性が高い。

4. *Ramesa tosta* Walker (3131)

カバイロシヤチホコ

南方系の種で、伊豆半島を北限とし、本州、四国、九州の南岸部に分布している。食草は未知であるが、イネ科で飼育できるといわれている。

県内で発見されるとすれば、淡路島南半部の可能性が高い。

5. *Notodonta stigmatica* Matsumura (3135)

トビスジシヤチホコ

北海道から九州までの本土域に分布する日本特産種。ヤマハンノキやシラカンバが食樹として確認されており、分布は局地的である。年2回の発生が知られている。これまで県内では見つかって

いない。

6. *Epinotodonta fumosa* Matsumura (3160)

ウスグロシヤチホコ

北海道から中部以北の本州にかけて分布すると思われていたが最近愛媛県石鎚山からも記録された。したがって、西日本の高地にも分布している可能性があり氷ノ山あたりでも見つかるかも知れない。ウダイカンバ、ダケカンバ、ヤシヤブシ、シナノキが食樹として知られている。

7. *Hagapteryx mirabilior* (Oberthür) (3162)

ゲンカイハガタシヤチホコ

ハガタエグリシヤチホコに近縁で、対馬で発見されてのち、徳島県剣山、長野県阿智村などでも発見された。岡山県でも記録があるらしく局地的ではあっても西日本に広く分布することが推測されている。詳しく調査すれば県内にも生息が確認される可能性は高い。

8. *Ptilodon kuwayamae* (Matsumura) (3163)

クワヤマエグリシヤチホコ

冷温帯性の種で、北海道、本州中部の高原地帯、四国から発見されている。岡山県においても蒜山で記録がある。いずれの発生地でも局地的であることが知られているが、県内から発見される可能性は高いと思われる。ヤマハギを食樹とし、年2回の発生である。

9. *Lophontsia cuculus* (Staudinger) (3169)

ウスツマシヤチホコ

冷温帯性の種で、北海道から本州、九州山地に記録がある。西日本ではかなりの高地帯に限られるようである。兵庫県からは未知である。食樹はハルニレで、分布は食樹の存在に左右されるため、西南日本では局地的となるが岡山県では記録がある。大阪府箕面市からも記録されているがこれはブライヤエグリシヤチホコとの誤認かもしれないとのことである。県内ではハルニレの分布は限られているが、但馬の山地には比較的好く見られるので、本種の発見も但馬地方で期待できる。

10. *Ptilophora jezoensis* (Matsumura) (3174)

エゾクシヒゲシヤチホコ

北海道から中部山地、四国の剣山と石鎚山、九州山地が分布地としてあがっているが、岡山県奥

兵庫県のシャチホコガ科各種分布状況(2)

	神 戸	阪 神 北 摂	中 東 播 南 部	中 東 播 北 部	西 播 南 部	西 播 北 部	南 但	北 但	丹 波	淡 路 北 部	淡 路 南 部	記 録 地 数	備 考
45. アカネシャチホコ		○			○	○	○	○	○			6	山地性
46. ナカキシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			19	
47. ルリモンシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	
48. シノノメシャチホコ										○		1	注目種 局地的
49. マルモンシャチホコ					○	○	○	○	○			13	山地性
50. イシダシャチホコ					○	○	○	○	○			7	
51. ニトベシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			8	局地的
52. ネスジシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			6	局地的
53. スズキシシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			19	
54. ウグイスシャチホコ							○	○	○			2	山地性
55. アマギシャチホコ							○	○	○			1	注目種 山地性
56. トビモンシャチホコ			○		○	○	○	○	○			7	山地性
57. コトビモンシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			20	
58. ノヒラトビモンシャチホコ		○			○	○	○	○	○			5	局地的
59. モンキシロシャチホコ						○	○	○	○			5	山地性
60. カエデシャチホコ	○					○	○	○	○			11	
61. ハイイロシャチホコ						○	○	○	○			8	
62. ヤスジシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			12	
63. オオトビモンシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
64. タカオシャチホコ			○		○	○	○	○	○			8	
65. ツマシロシャチホコ	○	○		○	○	○	○	○	○			18	
66. タカムクシャチホコ								○	○			1	注目種 山地性
67. ハガタエグリシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			9	山地性
68. エソエグリシャチホコ						○	○	○	○			5	注目種 山地性
69. エグリシャチホコ	○			○	○	○	○	○	○			7	山地性
70. クロエグリシャチホコ	○					○	○	○	○			6	山地性
71. スジエグリシャチホコ	○	○				○	○	○	○			7	山地性
72. シロスジエグリシャチホコ						○	○	○	○			8	山地性
73. プライヤエグリシャチホコ	○	○	○		○	○	○	○	○			14	
74. シーベルスシャチホコ							○	○	○			1	注目種 山地性
75. クシヒグシャチホコ								○	○			1	注目種
76. キエグリシャチホコ						○	○	○	○			2	注目種 山地性
77. タテスジシャチホコ						○	○	○	○			6	山地性
78. エソギンモンシャチホコ	○			○	○	○	○	○	○			8	山地性
79. ウスイロギンモンシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			21	
80. ギンモンシャチホコ		○				○	○	○	○			9	山地性
81. オオエグリシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	
82. ギンボシシャチホコ	○					○	○	○	○			7	局地的
83. トビギンボシシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	13	
84. クワゴモドキシャチホコ	○	○		○	○	○	○	○	○		○	15	
85. ヒナシャチホコ	○	○			○	○	○	○	○			9	
86. コフタオビシャチホコ				○	○	○	○	○	○			10	山地性
87. ツマアカシャチホコ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	21	
88. セグロシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	
89. トリゲキシャチホコ						○	○	○	○			1	注目種 山地性
シャチホコガ科 計	53	52	24	27	45	74	70	34	45	13	21		

津町でも記録がある。県下からは見つかっていないが西播から但馬にかけての中国山地には生息している可能性がある。カエデ類を食樹としている。本種もクシヒゲシャチホコと同様、晩秋に発生する。

11. *Platychasma virgo* Butler (3177)

ハネブサシャチホコ

関東以西の本州と四国、九州に産するが、分布は局地的。兵庫県からは発見されていない。

カジカエデが食樹として知られている。発見されるとすれば、播但山地が有力と思われる。

12. *Clostera albosigma* Fitch (3189)

ニセツマアカシャチホコ

北海道から中部地方の山地にかけてと四国の中央山地で採れている。ヤナギやヤマナラシ類を食樹とする冷温帯性の種。兵庫県からは記録がないが、中央高地から見つかるかもしれない。

<引用文献>

- 52) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾
 53) 松本健嗣(1981) 神戸市山田町の蛾数種
 きべりはむし9(2) : 21-22.
 54) 夏秋 優(1997) 兵庫県尼崎市塚口の蛾
 Crude(41) : 20-25.
 55) 夏秋優・佐々木昇(1983) 能勢地方の蛾(II)
 上阿古谷・夏の蛾(続報) Crude(24) : 1-12.
 56) 夏秋優・佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III)
 妙見山・夏の蛾(1) Crude(25) : 15-22.
 57) 新家 勝(1983) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その2) きべりはむし11(1) : 6-12.
 58) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その10) きべりはむし21(2) : 53-64.
 59) 岡本 清(1999) 黒田庄町で採集した蛾(2)
 てんとうむし13 : 41-49.
 60) 登日邦明(1988) 常陸寺山でシノノメシャチホコを採集 Parnassius(33) : 3.
 61) 八木 剛(1991) 氷ノ山でアマギシャチホコがとれる 炎舞ニュースNo.27.
 62) 柳田慶浩(1999) 西日本(九州主体)の興味ある蛾類 誘蛾燈156 : 29-44.

兵庫県における蝶数種の産卵植物 広畑 政巳

蝶の食草については全国的によく調査されその全貌が明らかにされているが、兵庫県ではとすると以外と曖昧なところが多い。今回観察したことは産卵したというだけで食草になり得たかということは確認していない。しかし、これまでに県下の記録として報告されていないし、珍しいと思われるので記録として書き留めておきたい。

1) キチョウがシロツメクサに産卵

本種はネムノキやメドハギを主に利用しているが、ニセアカシア、サイカチなどのマメ科植物も食草として知られている。筆者は1999年8月22日に川西市黒川においてシロツメクサに産卵するのを観察している。産卵は一例ではなく三例観察している。マメ科であるので不思議ではないがこれまで報告されていないように思われるので産卵記録として残しておきたい。

2) ルリシジミがスイバに産卵

1999年6月13日に市川町上牛尾半瀬にてスイバに産卵する本種を観察している。スイバと同じタデ科のイタドリなどの産卵記録は県外であるようであるが珍しいので報告しておく。

3) モンキチョウがヤハズソウに産卵

コマツナギ、ミヤコグサシロツメクサなど多くのマメ科植物を食草にしているのでヤハズソウも食草になっているのかもしれない。しかし県下の記録としてはないように思われるので記録として残しておきたい。1999年7月31日に太子町大市中で観察している。